

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立第一小学校

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成27年4月21日（火）

3. 調査の対象

小学校第6学年，全児童

実施児童数（74人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語・算数及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少ない。
平均正答率（本校 66.7／泉佐野市 66.7／大阪府 67.6／全国 70.0）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて上位層がやや少なく下位層がやや多く分布している。
平均正答率（本校 60.7／泉佐野市 59.2／大阪府 62.7／全国 65.4）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【読むこと】</p> <p>○新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えることに課題がある。</p> <p>5一 コラムの中で筆者の読書体験が書いてある まとまりを選択する (54.1/59.5)</p> <p>5二 コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く (13.5/19.8)</p> <p>○作品募集の案内の中から、必要な情報を読み取ることに課題がある。</p> <p>7 応募のきまりを守っていないものを選択する (62.2/73.9)</p>	<p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことが概ねできている。</p> <p>1一1 友人を家に<u>招く</u> (98.6/97.5)</p> <p>1一2 自分の<u>信念</u>をつらぬく (98.6/96.0)</p> <p>1一3 全員がすぐに<u>承知</u>した (94.6/92.5)</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことにやや課題がある。</p> <p>1二1 シャワーを<u>あ</u>びる (68.9/58.4)</p> <p>1二2 鳥の<u>す</u>を観察する (64.9/76.5)</p> <p>1二3 <u>びょういん</u>に行く (70.3/74.9)</p> <p>○文の中における主語を捉えることに課題がある。</p> <p>2一 文の主語として適切なものを選択する (45.9/53.1)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【書くこと】</p> <p>○目的や意図に応じ、新聞の割り付けをすることに課題がある。</p> <p>1一 新聞の割り付けとして適切なものを選択する (67.6/74.6)</p> <p>○文章と図とを関係付けて、自分の考えを書くことに課題がある。</p> <p>2三 楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く (33.8/41.6)</p>	<p>【読むこと】</p> <p>○登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉えることに課題がある。</p> <p>3一 〈絵3〉の場面が始まるまとまりとして適切なものを選択する (52.7/60.4)</p> <p>○登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読することに課題がある。</p> <p>3二 声に出して読むときの工夫とその理由を書く (54.1/66.6)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	47.3	61.1	○	13.8
国語の勉強は大切だと思いますか	87.8	92.0		4.2
国語の授業の内容はよく分かりますか	71.6	82.0	○	10.4
読書は好きですか	73.0	72.8		0.2
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	77.0	88.6	○	11.6
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	43.2	65.2	○	22.0
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	43.3	61.2	○	17.9
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	58.1	72.7	○	14.6
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	78.4	77.2		1.2
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	68.9	77.7	◇	8.8

○「読書は好き」と感じている児童の割合が、昨年度と同様、全国と比べて高い。

(H26 74.4 H25 65.5)

○「国語の勉強は好き」の児童の割合が全国と比べて低く、昨年度と比べても低くなっている。

(H26 69.5 H25 50.6)

○ 国語の授業で、自分の考えを話したり書いたり、話の組み立てを工夫したりするといった、言語活動に対する項目の回答がいずれも低い。

○「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。」の設問に「最後まで解答を書こうと努力した」と答えた児童の割合が、全国と比べて低いことに課題はあるものの、根気強く問題に取り組もうとしている児童は増加傾向にある。(H26 68.3 H25 67.9)

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 72.6 / 泉佐野市 73.5 / 大阪府 74.8 / 全国 75.2）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国に比べるとやや低位層に偏りがある。

平均正答率（本校 41.1 / 泉佐野市 40.8 / 大阪府 44.1 / 全国 45.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問	
<p>【数と計算】</p> <p>○加法における計算の確かめの方法を理解することが概ねできている。</p> <p>1（3）小数の加法の結果を、減法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く (95.9/82.0)</p> <p>○繰り上がりのある2位数の加法の計算をすることが概ねできている。</p> <p>2（1）$28 + 72$を計算する (98.6/98.2)</p> <p>【量と測定】</p> <p>○180° や 360° を基に分度器を用いて、180° よりも大きい角の大きさを求めることに課題がある。</p> <p>4（2）分度器の目盛りを読み、180° より大きい角の大きさを求める (48.6/58.0)</p>	<p>【図形】</p> <p>○円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求めることに課題がある。</p> <p>5（2）円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形の、角の大きさを求める (52.7/64.5)</p> <p>○見取図と展開図を関連付けて、立体図形の辺や面の位置関係を理解することに課題がある。</p> <p>6（2）作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面を付けてかく辺を選ぶ (59.5/67.6)</p>	

算数B	特徴がみられた設問	
<p>【図形】</p> <p>○平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質を理解することに課題がある。</p> <p>1（2）作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ (47.3/54.6)</p> <p>○正三角形の性質や合同な三角形の性質を基に、㊦の角が30°になる理由を記述することに課題がある。</p> <p>3（2）合同な二つの三角形を巻き尺でつくったときに、㊦の角が30°になるわけを書く (39.2/49.1)</p>	<p>【数量関係】</p> <p>○条件を変更した場面に面積を2等分する考えを適用して、示された部分の面積を求めることに課題がある。</p> <p>5（2）示された図形の色がついた部分の面積を求める (40.5/47.8)</p> <p>○示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを記述することに課題がある。</p> <p>2（3）示された割り引き後の値段の求め方の中から誤りを見だし、正しい求め方と答えを書く (31.1/51.0)</p>	

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	56.8	66.6	◇	9.8
算数の勉強は大切だと思いますか	87.8	93.1	◇	5.3
算数の授業の内容はよく分かりますか	73.0	81.0	◇	8.0
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	62.1	77.5	○	15.4
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	78.4	79.6		1.2
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	59.4	67.7	◇	8.3
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	81.1	90.3	◇	9.2
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	77.0	79.1		2.1
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	77.0	80.6		3.6
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	78.3	83.8	◇	5.5
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	68.9	73.3		4.4

○算数の勉強は大切だと認識している割合は低くないが、「算数の勉強は好き」と感じている児童の割合は全国と比べて低く、昨年度と比べても低くなっている。(H26 58.5)

○「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか」の設問に、肯定的な意見を持つるように、授業改善に取り組んでいくことが大切である。(H26 78.1)

○学習したことを普段の生活で活用できないかを考え、社会に出たときに役に立つと思えるように、実生活につながるような興味のある授業づくりに取り組む必要がある。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 52.5／泉佐野市 53.6／大阪府 57.3／全国 60.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

理科	特徴がみられた設問
<p>【物質】</p> <p>○予想が一致した場合に得られる結果を見通して実験を構想することに課題がある。</p> <p>3（2）水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶ（43.2/54.0）</p> <p>○水の温まり方を考察するために、実験結果を基に自分の考えを改善することに課題がある。</p> <p>3（3）水の温まり方について、実験結果から考え直した内容を選ぶ（36.5/51.7）</p> <p>○メスシリンダーの名称を理解することに課題がある。</p> <p>3（4）示された器具（メスシリンダー）の名称を書く（48.6/70.7）</p> <p>○メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を身に付けることに課題がある。</p> <p>3（5）メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を選ぶ（39.2/51.7）</p> <p>○析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述することに課題がある。</p> <p>3（6）水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから、水の温度が下がったときに出てくる砂糖の量を選び、選んだわけを書く（14.9/28.9）</p> <p>【エネルギー】</p> <p>○振り子の運動の規則性を振り子時計の調整の仕方に適用することに課題がある。</p> <p>1（2）振り子時計の進み方を調整する内容を選ぶ（50.0/61.2）</p>	<p>【生命】</p> <p>○メダカの雌雄を見分ける方法を理解することに課題がある。</p> <p>2（1）メダカのめすとおすを見分けるための観察する部分を選ぶ（66.2/78.0）</p> <p>○生物の成長に必要な養分のとり方について、調べた結果を視点をもって考察して分析することに課題がある。</p> <p>2（2）よし子 生物の成長に必要な養分のとり方について、仲間分けした観点を選ぶ（63.5/76.3）</p> <p>○顕微鏡の名称を理解することに課題がある。</p> <p>2（3）示された器具（顕微鏡）の名称を書く（41.9/61.6）</p> <p>○植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して、その内容を記述することに課題がある。</p> <p>2（5）インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選び、選んだわけを書く（28.4/44.2）</p> <p>【地球】</p> <p>○月は1日のうち時刻によって形は変わらないが、位置が変わることを理解することに課題がある。</p> <p>4（2）夕方にみられる月の形と場所を選ぶ（47.3/56.1）</p> <p>○水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念を理解することに課題がある。</p> <p>4（5）水が水蒸気になる現象について、その名称を書く（48.6/58.5）</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	85.2	83.5		1.7
理科の勉強は大切だと思いますか	82.4	86.9		4.5
理科の授業の内容はよく分かりますか	87.8	87.9		0.1
自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	85.1	86.9		1.8
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	58.1	69.3	○	11.2
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	68.9	74.5	◇	5.6
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	29.7	28.8		0.9
理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	48.7	54.9	◇	6.2
理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	68.9	90.0	○	21.1
観察や実験を行うことは好きですか	83.8	90.1	◇	6.3
理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	71.6	75.3		3.7
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	74.3	80.4	◇	6.1
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	56.7	67.1	○	10.4
今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	56.8	76.1	○	19.3

○「授業の内容はよく分る」と回答した児童の割合が高く、「理科の勉強は好き」と感じている児童の割合は全国と比べて高い。

○学習したことを普段の生活で活用できないかを考え、社会に出たときに役に立つと思えるように、実生活につながるような興味のある授業づくりに取り組む必要がある。

○「今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。」の設問に「最後まで解答を書こうと努力した」と答えた児童の割合が、全国と比べて低いことに課題がある。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	<p>○読書の習慣について、全国を上回っている。</p> <p>○地域行事の参加率が低い。</p> <p>○新聞を読むことやニュースを見ることが少ない。</p> <p>○自尊感情が高くない。</p>	<p>○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）</p> <p>30分以上 <51.3/37.7></p> <p>○住んでいる地域の行事に参加する <48.7/66.9></p> <p>○地域や社会の問題に関心がある <36.5/44.8></p> <p>○新聞を読んでいる <13.6/23.7></p> <p>○ニュース番組（インターネット含む）を見る <73.0/84.3></p> <p>○自分には、よいところがあると思う <62.1/76.4></p>
【家庭学習の様子】	<p>○通塾率は、全国を上回っている。</p> <p>○家庭学習の取組みが弱い。</p>	<p>○学習塾（家庭教師を含む）で勉強していますか</p> <p>通っていない <37.8/52.7></p> <p>○自分で計画を立てて勉強をする <47.3/62.8></p> <p>○学校の授業の予習をする <25.7/43.4></p> <p>○学校の授業の復習をする <43.3/54.5></p>
【学校での学習の様子】	<p>○話し合い活動が弱い。</p>	<p>○友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である <41.9/51.2></p> <p>○学校に行くのは楽しいと思う <79.7/87.0></p> <p>○学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思う <70.2/80.5></p>

本校の取組み

◎これまでの取組み

これまでの全国学力・学習状況調査の結果から見てきた本校児童の学力実態を踏まえ、「心豊かな子どもの育成をはかり、確かな学力向上に努める」を教育目標として、研究授業や公開授業等、教職員の授業改善に取り組んできました。国語科の話す・聞く力の育成を通して、コミュニケーション能力を高める研究を進め、授業においては話し合い活動を取り入れた展開を仕組み、スピーチにおいて一人ひとりの考えを大切に聞き合う活動を続けてきました。

本校児童の課題として、自分に自信がもてず、積極的に話し合いができない、最後までやり遂げる粘り強さがいないなどの点があげられます。そこで、児童一人ひとりの自尊感情を高め、自ら考え行動することのできる力を高めるための取組みを推進しています。そのひとつとして、一小校区福祉委員会や地域の方のご協力をいただきながら、田植え・稲刈り体験、芋苗植え・芋掘り体験、収穫祭、昔遊び体験、しめ縄リース作り等、さまざまな体験活動を実施しています。これらの活動を通じて、自分は人の役に立っていると感じ、自尊感情が高まるように努めています。

◎これからの取組み

今回の全国学力・学習状況調査の結果を分析して、これまでの本校の課題を改善するためには、更に、これまでの取組みを継続していく必要があることが明らかになりました。

「学ぶ力」の育成をめざして取り組んでいることは、次の3点です。

1. 基礎・基本の定着

○朝学習に取り組んでいます。算数は百マス計算などの基礎的な計算を中心に学習し、国語はスピーチを通してコミュニケーションを養っています。

○学期ごとに計算大会を開催し、学習の成果を確認し全校表彰をすることで児童に達成感がもてるように努めています。

2. 指導方法の工夫改善

○3年生から6年生において、少人数指導によるきめ細かな指導や児童一人ひとりの習熟度に応じた授業（主に算数）を行っています。

○グループワーク（ペア学習やグループ学習）を取り入れ、児童すべての意見が共有できるよう授業改善に取り組んでいます。

○校内独自のテストを4月と2月に実施し、児童の学力について分析活用しています。

○ノートのまとめ方や考えを書く作業についての指導を高めています。

○教師の指導力を高めるため、すべての学年で研究授業を実施しています。また、職員の自主研修を実施し、研究教科以外の教科にも指導力向上を図っています。

○全国学力学習状況調査等の分析等を研究部が中心となり、全職員で検討し授業に活かしています。

3. 児童の学習意欲高揚

○読解力を高めるため、図書室の活用を推進しています。また、読書の時間を全校一斉に取り、児童の読書に対する意識を高めています。今年度から読み聞かせタイムを設けました。

○授業参観を年間5回と一日中いつでも参観できるフリー参観を2日実施し、保護者、地域の方々に児童の様子を参観していただいています。

○まなびんぐサポート事業を活用し、2年生の希望者を対象に算数の補充学習を実施しています。

○中・高学年による夏休みの学習会を実施し、基礎学力の向上に努めています。

本調査結果とこれまでの取組みを検証し、更なる学力強化について、実効性のあるものにするように、校内の研究推進委員会を中心に、本校の学力の課題克服に向けて真摯に取り組んでまいります。